

様式第二号の八 (第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成27年6月1日

大分県知事

広瀬 勝貞 殿

提出者

住 所 大分県杵築市大字本庄1453番地の1

氏 名 株式会社ジェエイフーズおおいた

代表取締役社長 畑辺 由治

電話番号 0978-62-6500

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社ジェエイフーズおおいた
事業場の所在地	大分県杵築市大字本庄1453番地の1
計画期間	平成27年4月1日～平成28年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	1011
②事業の規模	資本金 4億9千3百万
③従業員数	170人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙 1

(日本工業規格 A列4番)

27.6.16

受 領

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙 2

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（26年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3-1	
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 27年度目標		
	産業廃棄物の種類	別紙3-2	
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 脱水能力を高め、食物残渣物の抑制を図る。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 発生毎に分類し、一時保管場所に区分を明確にしている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状維持し、周知徹底する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（26年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3-1	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】（27年度）		
	産業廃棄物の種類	別紙3-2	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 脱水能力を高める。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】 該当なし		
	産業廃棄物の種類	該当なし	該当なし
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	該当なし	該当なし
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】該当なし		
	産業廃棄物の種類	該当なし	該当なし
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	該当なし	該当なし
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（26年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3-1参照	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】27年度	
	産業廃棄物の種類	別紙3-2
	全処理委託量	t t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t t
	再生利用業者への 処理委託量	t t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t t
(今後実施する予定の取組)		
脱水能力を高め、食物残渣物の抑制を図る。		
※事務処理欄		

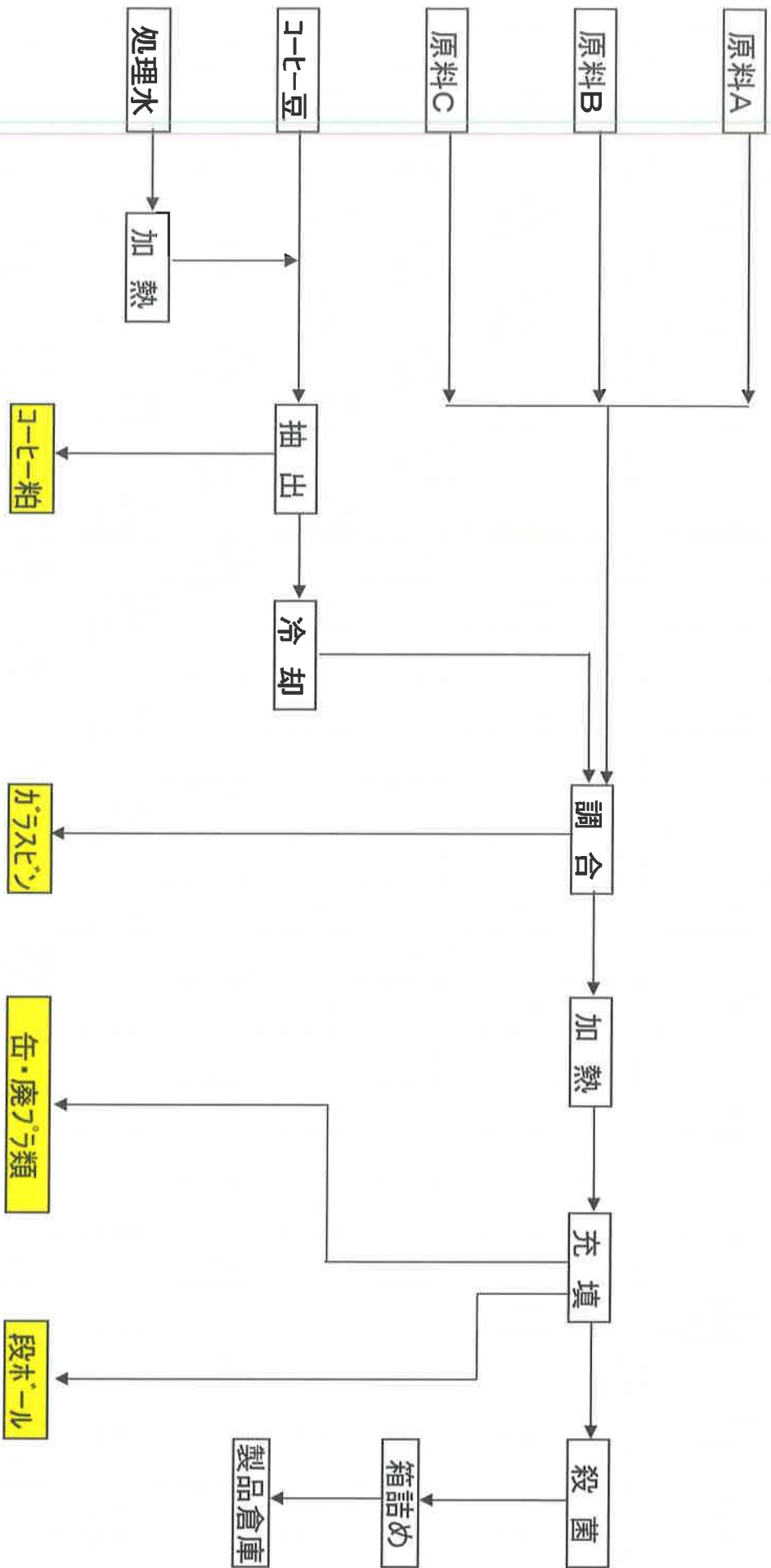


図1 コーヒー飲料製造フローシート
(茶飲料もほぼ同工程)

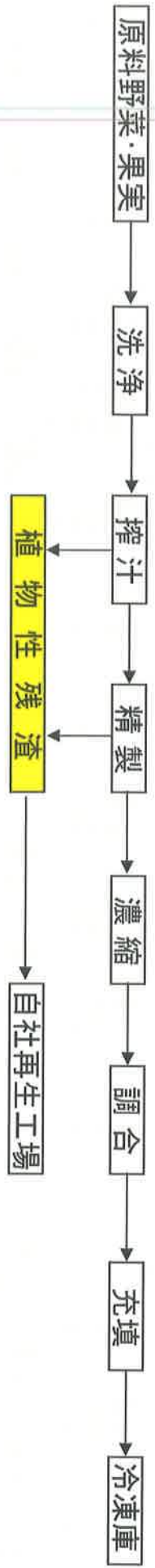


図2 残渣物発生フローシート

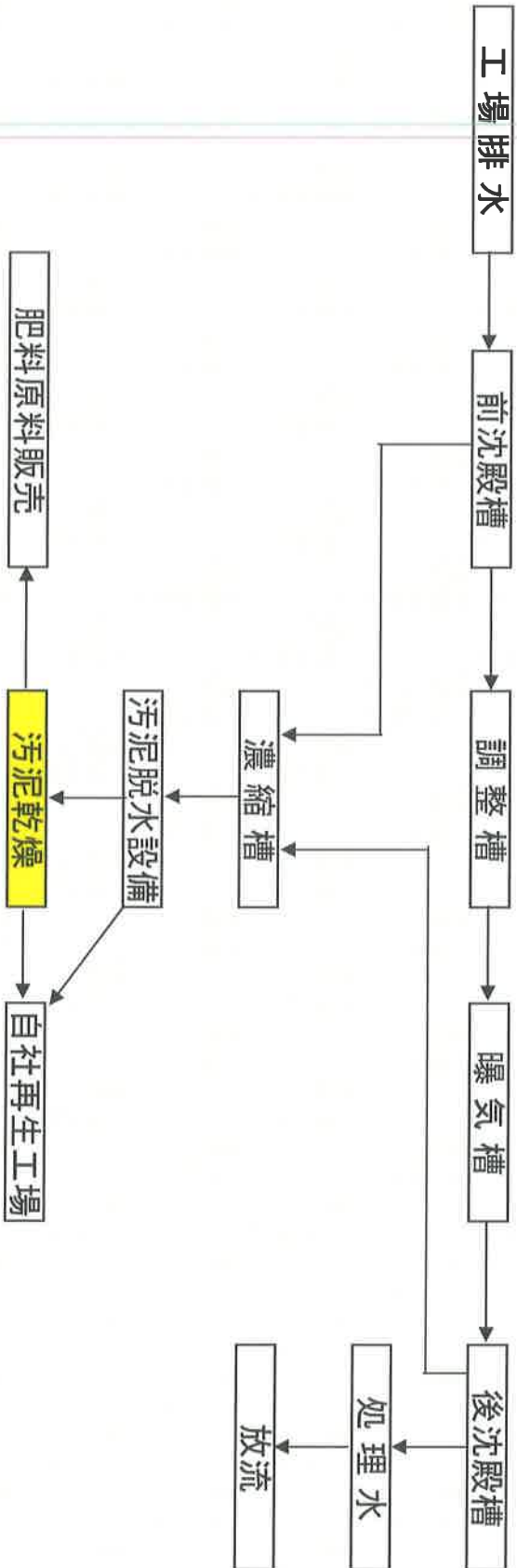


図3 污泥発生フローシート

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

26年度計画処理実施状況

単位: t

		26年度 排出量 目標	①26年度 排出量	②自己直 接再生利 用量	③自己直 接埋立て 処分又は 海洋投入 量	④自己中 間処理量	⑤ ④の内熱 回収した 量	⑥自己中 間処理残 さ量	⑦自ら中 間処理に より減量し た量	⑧自己中 間処理後 再生利用 量	⑨自己中 間処理後 直接埋立 て処分又 は海洋投 入量	全処理委託量				
												⑩直接及 び自ら中 間処理し た後の処 理委託量	⑪ ⑩の内優 良認定処 理業者へ の委託量	⑫ ⑩の内再 生利用業 者への処 理委託量	⑬ ⑩の内熱 回収業者 への処理 委託量	⑭ ⑩の内熱 回収認定 業者以外 への熱回 収業者へ の処理委 託量
食物残渣	窄汁粕	3500.0	2949.0	2854.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	95.0	95.0	95.0	0.0	0.0
汚泥	汚泥	340.0	493.0	387.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	106.0	106.0	106.0	0.0	0.0
廃プラスチック	廃プラ	3.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	0.3	0.0
ガラス屑/ガレキ	ガレキ・ガラス	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
燃え殻	焼却灰	3.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	5.9	5.9	0.0
合計		3846.1	3448.2	3241.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	201.0	207.2	207.2	6.2	0.0

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

27年度処理計画

単位: t

		26年度 排出量	①27年度 発生量 目 標	②自己直接 再生利用量	③自己直 接埋立て 処分又は 海洋投入 量	④自己中 間処理量	⑤ ④の内熱 回収した 量	⑥自己中 間処理残 さ量	⑦自ら中 間処理に より減量し た量	⑧自己中間 処理後再生 利用量	⑨自己中 間処理後 直接埋立 て処分又 は海洋投 入量	全処理委託量				
												⑩直接及 び自ら中 間処理し た後の処 理委託量	⑪ ⑩の内優 良認定処 理業者へ の委託量	⑫ ⑩の内再 生利用業 者への処 理委託量	⑬ ⑩の内熱 回収業者 への処理 委託量	⑭ ⑩の内熱 回収認定 業者以外 への熱回 収業者へ の処理委 託量
食物残渣	搾汁粕	2949.0	3500.0	3500.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
汚泥	汚泥	493.0	340.0	340.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
廃プラスチック	廃プラ	0.3	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	3.0	3.0	0.0	0.0
ガラス屑/ガレキ	ガレキ・ガラス	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
燃え殻	焼却灰	5.9	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	3.0	3.0	0.0	0.0
合計		3448.2	3846.1	3840.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.1	6.1	6.0	0.0	0.0